

平成 28 年度第 3 回麒麟のまち創生戦略会議議事概要

日時 平成 28 年 11 月 28 日(月) 午後 3 時～
場所 兵庫県立但馬牧場公園ビジターハウス イベントホール
出席者 鳥取市長、鳥取市副市長、岩美副町長、若桜町長、智頭町長、
八頭町長、香美町長、新温泉町長

議事概要

1. 開会

《新温泉町長》

広域連携で、取り組みを充実させていく時期に差し掛かってきていると思う。今日は成果の上に立って、更なる充実を共に連携しながら頑張りたい。

2 議題

(1) 麒麟のまち圏域における今年度の取組状況について

①移住定住促進《鳥取市》資料 1

②観光振興推進《鳥取市》資料 2

③麒麟獅子を中核にした日本遺産認定申請《鳥取市》資料 3

④麒麟のまち関西情報発信拠点《鳥取市》資料 4

⑤ピンバッジの着用による麒麟のまち圏域の PR

《鳥取市》。なるべく多くの方にご活用いただき、麒麟のまちを PR していただければと思う。

意見・質疑応答

《八頭町長》10 月 26 日に文化庁に行った。かなりハードルが高いと感じた。手を挙げた限りは、それに向かっていく必要がある。

《鳥取市》 12 月に、ストーリー案と地域活性化計画について文化庁と協議を行う。県の指導を受けながらいいものを作り、文化庁に指導をいただき、2 月に申請の事務を行いたい。

《鳥取市副市長》観光関係の連携事業について、29 年度取組（案）を記載している。今年度と同様に予算措置することを確認させていただきたい。

(2) 新たな広域連携促進事業(総務省委託事業)について

①麒麟のまち圏域の産業構造分析《山陰経済研究所》資料 5-1

②住民アンケート速報結果概要《山陰経済研究所》資料 5-2

③先進事例視察結果報告《山陰経済研究所》資料 5-3

意見・質疑応答

《香美町長》人の動きとか、購買の流れとか、私どもはコリドーの仲間に入れていただいたり、麒麟のまちの創生戦略の会議にも出ささせていただいたりしているが、やはり一番東端ということもあり、東側の動きというのが妙実に表れている。これからの連携のことについても様々な意見が飛び交うと思うが、率直な感想で、新温泉町と隣町とはいえ、香美町とではだいぶ差がある感じがする。

《山陰経済研究所》例えば（鳥取）市立病院は、外来の 1 割くらいは兵庫県の北部から来られるということもあった。

《香美町長》我々の地域は、今後の距離と言うか、時間的には、豊岡まで30分、鳥取まで1時間と言われる。

《鳥取市副市長》東に延びていけば、豊岡まで15分になっていく。

(3) 定住自立圏と連携中枢都市圏の制度について《鳥取市》資料6

《岩美町副町長》国も指標を定めて30圏域くらいを作りたいと言っている。

《鳥取市長》特交措置が1500万円で定住自立圏と同じというのは、もう少し上げるべきではという話をした。引き続き、有利な財政措置を講じてもらえるように要望するのは可能だと思う。

国が30圏域くらい作りたいと考えているのであれば、この特交措置だけでなく、いろいろな制度の活用ができそうな感じがある。

麒麟のまち圏域での連携事業を深めていくためにも、このような有利な制度を活用していったらどうか。

《岩美町副町長》比較ということで、定住自立圏と連携中枢都市圏の比較をしてあるが、ピンとこない。定住自立圏も連携中枢都市圏もやることは一緒で、何が変わるのか。

正直な話、岩美町の場合、市町村合併の段階で事務共有までやるという経過の中で、次の道州制等をにらんだ部分に引っ掛けられる感じもかなりしている。国ではダム機能だと説明しながら、それが発展していけば、広島がダム機能になっていき、逆に言えば、地方自体が落ち込んでいくとか、ますます後退していくというような懸念をしている方も議会の中にはおられる。本当に定住自立圏と連携中枢都市圏はどう違うのというあたりを説明できないことには、なかなか難しい。ただ、今までみたいに連携しながら圏域が発展していくという部分については否定する話ではない。かなりの割合で鳥取市に職の方は頼っている実態の中で、連携して取り組んでいただいて、どんどん鳥取市に企業が入っていただき、そういう部分に人を提供して行って、住むところは各町で、というような形をとりたい。

《鳥取市》定住自立圏の時も同じ議論があり、さらなる市町村合併や、次の合併の話かというようなことも、各町の議員からあったし、道州制の話もあったが、連携は重要だということで今に至っている。

何が違うのかというと、実際には定住自立圏と連携中枢都市圏は、実際に中心都市の要件とか、財政措置が変わるということで、今、副町長がおっしゃった、大きなダム機能、より大きな都市を隔離して、地方の定住条件を整えていこうというふうな意味合いと伺っている。

みんなで知恵を絞りながらそういう取り組みをすればいいと思うが、我々が判断するうえで、後退するものはないと認識している。

それぞれの事情というのはあると思うので、やりやすい方針でやればいいと思うが、移住定住とか観光分野で連携しているし、こういったやり方があるべき姿なのかなど。大きなこのエリアで良い連携を深めれば、もっといい話で、そういう制度になっていると思う。

《八頭町長》周りの町からすれば、一回説明して、納得できる説明があればと思う。

《鳥取市副市長》先ほどのアンケートも活用していただき、これを利用することによってこのようなリットがあると、それぞれ探していただいて、来年以降の施策に繋げていければいいと思う。

3 その他

- 《鳥取市》 経済観光部の方から、地域商社についてのお願いをする。
地元の金融機関が連携し、地元自治体と地元の農産物、加工食品等を圏域外へ販路拡大する仕組みとして、地域商社はどうかと考えている。国も注目しているようなモデル的な取り組みである。
既に因幡圏域の4町の担当課長には、課長会議でこの構想について説明したところ。明日以降、鳥取市の担当部長が東部4町の町長を尋ね、直接、その構想について説明したいということで、日程の調整している。来年早々にも地域商社を立ち上げ、その後の状況を見ながら、兵庫県但馬の2町にも参画していただければと考えている。来月の早い段階で、地域商社設立のための準備会、協議会も立ち上げていきたい。
- 《鳥取市副町長》金融機関からの提案だったが、行政も連携してやっていくということで、農産物や加工品の販路拡大をやっていきたい。
- 《鳥取市長》地元の金融機関が大変熱心にしていただいている。地方創生の取り組みで、農産物の販路拡大、またマッチングがうまくいき、担うような機能を一体化できるのではないかと、私は以前から思っていた。
この間、中国集会では地域商社がテーマだった。各市で検討しているが、具体的に立ち上げて切り盛りしていくような状況は、全国的にもまだあまりない。国は推奨しているが、DMOとも関係するし、麒麟のまちの情報発信拠点にも参画していただければいいのではないかと考えている。立ち上げに向けて、具体的な近況を圏域で共有していけたらと思う。今後もまた、さらなる検討をしていきたい。

4 閉会